

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回茨木市総合教育会議
開催日時	令和4年2月14日(月) (午前(午後) 2時00分 開会 (午前(午後) 3時20分 閉会)
開催場所	市役所南館8階 中会議室
議長	福岡 洋一(茨木市長)
出席者	福岡 洋一(茨木市長) 岡田 祐一(教育長)、武内 由紀子(教育長職務代理者)、 堀村 佳奈子(教育委員)、前川 佳之(教育委員)、 堀井 孝容(教育委員) 【6名】
欠席者	なし
事務局職員	秋元企画財政部長、山崎こども育成部長、小田教育総務部長、加藤学校教育部長、青木学校教育部次長、岩崎政策企画課長、中坂学務課長、浅野施設課長、岩城教職員課長、新川教育センター所長、三好政策企画課長代理、谷口教育政策課係長【12名】
開催形態	公開
議題(案件)	(1) 開 会 (2) 市長あいさつ (3) 報告案件 茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果について (4) 協議案件 1 新型コロナウイルス感染症にかかるこれまでの対応について 2 中学校給食センター整備について 3 小・中学校の空調設備について (5) その他 (6) 閉 会
配布資料	(1) 茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果 (2) 新型コロナウイルス感染症にかかるこれまでの対応について (3) 中学校給食センター整備について (4) 小・中学校の空調設備について
傍聴人	2名

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開会</p> <p>ただ今より「令和3年度 第1回茨木市総合教育会議」を開催する。 本日は傍聴者が2名おられ、会議は原則公開としており、既に傍聴者の皆さまには、入室していただいている。</p>
福岡市長	<p>2 市長あいさつ</p> <p>コロナ禍においては、学校現場は大変な状況である。そうした中だからこそ、普段から、教育委員会、何よりも現場を預かっておられる学校の先生方など、皆様のご意見を尊重し、予算を担当する市長部局として、独断専行にならないよう、進めていくことが大切と考えている。普段から岡田教育長とお話しする場を持たせていただいているが、本日は特に教育委員の皆様がどういった考えをお持ちか、少しでも教えていただき、しっかり理解した上で、市長部局の対応等を深めていきたい。</p>
福岡市長	<p>3 茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果について（報告案件）</p> <p>「茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果について」、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>【茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果について説明】</p>
福岡市長	<p>何か、ご質問、ご意見等は。</p>
岡田教育長	<p>中止せざるを得なかった授業や、子どもたちの行動制限等、コロナ禍でできなかったことは多いため、評価が一定下がったことはやむを得ない。しかしながら、完全な中止ではなく、リモートで対応する等、図書館、資料館等を含め、現場でできる限りの工夫は行えたと感じる。全体的に、市民や子どもたちに提供という部分では減少したが、コロナ禍での新しい取組や工夫は蓄積されたのではないかと。</p>
福岡市長	<p>他に何か、ご質問、ご意見等は。＜意見なし＞</p>
福岡市長	<p>報告案件については以上とさせていただきます。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	<p>4 (1) 新型コロナウイルス感染症にかかるこれまでの対応について (協議案件)</p> <p>次に、協議案件の「新型コロナウイルス感染症にかかるこれまでの対応について」、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【新型コロナウイルス感染症にかかるこれまでの対応について説明】</p>
福岡市長	<p>事務局から説明があった。各委員のみなさま、何か、ご意見等があればご発言をお願いします。</p>
岡田教育長	<p>分散登校を実施し、3密を避けるという点では効果があったと思うが、授業の継続や、子どもたちの生活リズムを整えるという観点では、課題が残った。特に、低学年の子どもたちの家庭での過ごししかた等は、教員が把握しづらい部分であったが、家庭訪問や、オンラインミーティングで様子を見る学校もあり、休校よりは子どもたちの状況は把握できた。</p> <p>また、中学校3年生は入試を控えているため、学習保障として、オンライン授業を行ったが、効果については今後検証が必要である。</p>
武内教育長 職務代理者	<p>分散登校は、3密を避けるという効果はあったが、先ほど教育長がおっしゃったとおり、全体を把握することは難しい。しかし、タブレットを1人1台導入していただいているので、そちらを用いてある程度学習保障ができたと考えている。オンラインミーティングについても、教室に来なくても顔が見られるということで、子どもたちの様子を一定把握できたと思っている。ただし、低学年の子どもは、一人で自宅学習を進めることは難しく、自宅学習中保護者が子どもの横にいることが難しい家庭については、自宅で学習を行うのは不安が生じる。そのため、どうしても自宅学習が困難な家庭については、登校できるシステムを検討してもよいのでは。</p>
堀村委員	<p>令和3年8月、緊急事態宣言中においては、ワクチン接種が多くの方に行き渡っておらず、感染症の拡大に対する不安が広がっていた時期であったため、分散登校の判断は正しかったかと思う。ただ、保護者の負担については考慮が必要。小学校低学年であれば家に1人で置いておくことはできず、保護者が仕事を休まなければならない事態も多く発生していただろう。分散登校に関して、経済的な面では、給食費の無償化や預け先の費用等負担について対策をしていただいて、ありがたかった。しかし、保護者・児童生徒共に心身の負担がかかるため、今後はできる限り避ける方向で考えたい。1人1台タブレットが導入されていたので、少しはミーティング</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
堀井委員	<p>等で補うことができたと思うが、中学校においては生活リズムを崩してしまふことがあったとか、先ほども申しましたとおり、家庭支援が必要な児童への対応が十分にできていなかった等課題があるため、今後同じような事態が発生した場合のための改善施策を練っていきたい。</p> <p>令和3年8月の時よりも感染者数は増えており、今分散登校を行うことも検討すべきと考えている。医師の立場としては、教育は大切だが、児童の健康を守ることを最優先に考えていただきたいという思いがある。新型コロナウイルス感染症が子どもに感染した際の正確な影響もまだわかっておらず、重症化しなかったとしても、後遺症が残る可能性がある。普通のウイルスは神経系統には入らないようになっているが、新型コロナウイルスに関しては、それを通り越し神経系統に障害を起こしてしまう可能性もある。そういった場合に、今後児童の学力の低下につながることも懸念される。</p> <p>府教委が、学級閉鎖の基準や濃厚接触者の追跡を学校単位で実施するよう要請しているが、そういう学校系統の責任の所在が見えてこない。</p> <p>学級閉鎖の基準が、15%の陽性者又は体調不良者が学級内にいる場合、という基準で、この基準はインフルエンザと同じだということだが、オミクロンはインフルエンザと同じではない。未知の部分が大きく、重症度もインフルエンザよりは高いという見解もあり、治療薬も含め、まだ知見が足りない。インフルエンザと同列に扱ってほしくない。</p> <p>感染拡大防止のために全て学級閉鎖にした場合、全ての活動が停止し、心のケアも充分には行うことができない。また、給食が出ないとなると各家庭には大変負担が生じることになる。一律に全校休校するのではなく、8月の分散登校の経験を活かし、オンライン授業を拡充すべきであり、お休みの子どもに対しては、オンライン授業で対応することが重要である。そのためには、システム上の改善と、オンライン授業の拡大に向けた教職員の訓練がこの先必要になる。</p> <p>また、保育園・幼稚園については、子どもを預けられないと仕事に行くことができないご家庭もたくさんあるため、感染症対策を十分に行い、一律に休園という対応は避け、子どもが休むご家庭へのケアを行いたい。</p>
福岡市長	<p>オンライン授業を実施する場合、オンライン用に授業を作ることや、話す先生と全体を見る人で先生方が役割分担をしなければならない等、先生方の負担も大きいと伺ったが、見解はどうか。</p>
岡田教育長	<p>従来どおりの授業でオンライン授業を行うことは難しく、今後デジタル</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	教科書等が活用されることを含め、授業の組み立てを考えていかなければならない。また、今後緊急事態宣言の発出に伴い一斉休校の対応を行った場合の授業の方法を並行して検討している。
福岡市長	他に何か、ご質問、ご意見等は。＜意見なし＞
福岡市長	それでは、本案件については以上とさせていただきます。
福岡市長	4 (2) 中学校給食センター整備について (協議案件) 次に、協議案件の「中学校給食センター整備について」、事務局から説明を求める。
事務局	【中学校給食センター整備について説明】
福岡市長	進捗を教えていただきたい。
事務局	実際に給食センターを建てるということと、中学校内の整備を並行して進めていく必要があるため、次年度以降そちらに取りかかる予定である。
福岡市長	ありがとうございます。 各委員のみなさま、何か、ご意見等があればご発言をお願いします。
前川委員	中学校給食の整備は非常に重要な事業と考えているため、是非計画どおり進めていただきたい。市内産食材の使用について、食材の調達状況は厳しい状況であるが、今後中学校給食が開始されると、一層調達が難しくなる。遊休農地対策等、市長部局の農業振興の取組に期待したい。また、安全性を点検の上で、形が規格外の食材を使用する等により、市内産食材の使用率を上げることができるよう検討したい。
福岡市長	農業振興としては、現状では、準農家は比較的若い方が増えているが、農家というところまではまだまだ行き着いていない。どのような制度があり、支援を受けられるかを、しっかり周知し、地産地消に繋がるよう努力したい。
前川委員	特例子会社の制度を活用し、障害者の方々が農業を行う事例が他市であり、農産物の一部は給食にも使われる。ハードルは高いが、引き続き検討をお願いしたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	他に何か、ご質問、ご意見等は。＜意見なし＞
福岡市長	それでは、本案件については以上とさせていただきます。
福岡市長	4 (3) 小・中学校の空調設備について (協議案件) 次に、協議案件の「小・中学校の空調設備について」、事務局から説明を求める。
事務局	【小・中学校の空調設備について説明】
福岡市長	順調に進んでいるという認識でいいか。また、近隣の状況を教えていただきたい。
事務局	作業については、この3月中旬に向けて今現在、順調に進んでいる。 北摂の状況としては、既に箕面市は空調が稼働しており、豊中市は一部の学校で試験的に対応している。その他の市のうち2市は現在計画もしくは委託設計に向けて取り組んでおり、残り2市は周りの状況を注視していると聞いている。
福岡市長	ありがとうございます。 各委員のみなさま、何か、ご意見等があればご発言をお願いします。
堀井委員	子どもの体調管理において、体育館の冷房は当然必要と考える。早急の実現をお願いしたい。
福岡市長	他に何か、ご質問、ご意見等は。＜意見なし＞
福岡市長	それでは、本案件については以上とさせていただきます。
福岡市長	5 その他 茨木っ子キャリアパスポートについて進捗を教えてください。
事務局	国が示しているやり方では、小学校から高校までのキャリアを引き継ぐとされているが、本市の特徴としては、公立では就学前の児童から実施していることである。私立に関しても協力依頼をしており、趣旨に賛同していただけたところには順次取り入れていただいている状況である。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岡田教育長	<p>子どもたちが定期的に自分の行動を振り返り、それに対して教員や保護者がコメントし、そういったやりとりが子どもたちの非認知能力の育成につながっていると考えている。</p> <p>全国的にも保育所や幼稚園から取り組んでいるところはあまりないため、どのような効果があるか楽しみである。</p>
福岡市長	<p>始まったばかりの取組なので、開始が目標ではなく、実際にやってみたことを踏まえて先生方が子どもたちにどうアプローチすべきかまで研究することができたらと思う。</p>
岡田教育長	<p>キャリアパスポートの開始前に、「茨木っ子力」として、現場の先生方とすり合わせを行い、様々な方法で具体化してきた。その力が本当に身についているかどうかを検証できるかと考えている。また、先生方の授業での声かけや、集団作り、進路へ向けての話等に反映し、活かすことができるのではないかと考えている。</p>
福岡市長	<p>進捗を楽しみにしている。</p> <p>また、全国的に教員が集まりにくい状況であるという話を聞くが、目の前の教員不足への対応と、長い目で見て、将来に向けた教員不足への対応について教えていただきたい。</p>
岡田教育長	<p>新聞報道にもあるように、長時間労働等のイメージが固定化されてしまっているため、教員志望が少ないという状況ではある。インターンシップ等、学校に来ていただいて、現場の先生方を実際に見ていただくことも必要である。本市では、業務サポーターの増員等、様々な形で現場支援を行っているため、負担軽減を進めていくことにより、悪いイメージを払拭できるのではないかと考えている。教員養成を行う大学だけではなく、別の大学等でもアピールが必要である。本市は大学が多いため、教職員課でも各大学は回っているが、特に教員免許を持っている学生へアプローチしていきたい。</p>
福岡市長	<p>教員採用は大阪府で採用を行っているが、市の教員採用に向けた役割についてどう考えているか。</p>
岡田教育長	<p>大阪府の採用であるため、各大学へ向けたアピール等、茨木市の取組が採用にどう活かされているかはわかりづらいが、教員に対する全体的なイ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	<p>メージを上げるという役割を担っていると考えている。</p> <p>講師の確保の現状はどうか。</p>
事務局	<p>講師の確保の現状について、今現在、免許制度が要因の一つとなり、なかなか講師が見つからないという状況である。しかし、市のDXの取組として、24時間スマートフォンから講師登録ができるようになっており、現在は、去年や一昨年と比較すると、登録者が増加している。また、市独自で説明会を実施する等、講師確保に向けて取り組んでいる。各校の校長についても、講師に対し、採用試験のアドバイス等をしていただいている。</p>
福岡市長	<p>講師の確保は、市独自の動きが重要ということか。</p>
岡田教育長	<p>各市がどれだけ講師確保に対して動けるかが重要であると考えている。免許更新制度が廃止される方向で進んでいるため、免許を持っているが講師・教員として現在働いていないという方について、講師になるハードルが下がる可能性がある。</p>
福岡市長	<p>先ほどの発言で講師の登録者数が増えているとあったが、講師数は足りている状態か。</p>
事務局	<p>10数年ほど前と比較すると、現在は産休や育休を取得する講師が5倍ほど増えている。その関係もあり、配置してもまたすぐに不足が出るという状況である。</p>
福岡市長	<p>講師になられる方の多くはどんな背景があるのか。</p>
事務局	<p>年度初めに講師になられる方は教員採用試験に受からなかった方が中心であるが、年度途中で講師になられる方は、それまで民間企業で勤められていた方が多い。先ほど教育長のお話でもあったとおり、免許更新制度に従い、30時間の免許更新を受けて、免許更新を行い、講師としてチャレンジするという方が中心である。</p>
福岡市長	<p>長期間講師として働き続けている方は少ないのか。</p>
事務局	<p>長年講師をやられている方は少なく、講師の年齢も下がってきており、20代～30代が中心となっている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	最低限の講師数は確保できているという状況ということによろしいか。
岡田教育長	最低限確保できている状況である。 茨木市の場合は、児童生徒数は近年あまり変化がないため、同じくらいの教員数を配置する想定である。
前川委員	関連した事項であるが、採用権限について、本市で生まれ育ち、本市の学校で学び、本市で教員になりたいという方は多いと考える。しかし、採用権限は大阪府にあるため、本市で働きたくても、かなわない場合がある。本市独自で採用というのは難しいとしても、例えば豊能地区のように、三島地区枠で採用してはどうか。 また、教員の楽しさを広めるため、大学生だけでなく、市内の公立私立の高校生に対してもアプローチをしてはどうか。キャリア教育の一環として、将来教員を目指す動機付けとして、教員の魅力を伝えていただきたい。
福岡市長	教員の確保は教育の根幹に関わる話と考える。教育委員会としっかり協議をさせていただきたい。 他にご意見等はあるか。
前川委員	教育委員会独自で外部委員の意見聴取を伴う施策の点検及び評価を行っているが、非常に丁寧に資料を作っていただいている。 ただ、気になる点としては、GIGA スクール構想等新しい取組を実施するたび、学校現場にかなり負担がかかっている点である。どの教科や分野でタブレットが効果的か等、分析も大切だと思うが、それを現場の先生方をお願いするのも負担となる。教育センターへの人員配置や、外部委託等、教育の質の向上及び学校現場の負担軽減につながるよう検討してもらいたい。
福岡市長	DX の観点からも、学校現場の先生方の負担を減らす方向で検討したい。
堀井委員	大阪府の教育委員会が学校現場に休校基準の判断を任せるといった話があったが、インターネット上で、ただでさえ業務が多いのに、どうして学校現場にさらに負担を強いるのかという意見が多数あった。聞いたところによると、学校を休んだ子どもたちに対し、先生が宿題を一つ一つ家庭に配布しているところもあるという状況である。オンライン授業もそうであるが、業務量があまりに多く、辞めてしまう場合もあり、教員不足に繋がっ

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	<p>ていると感じる。</p> <p>6 閉会 これをもって、第1回総合教育会議を終了する。</p>